

## 生活科学部

## 〈環境デザイン学科〉

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
量と住居の歴史	磯野 さとみ (日本建築史・日本住居史)	今日消えつつある畳敷きの部屋、この「量」と日本人と住まいとのかわりについて歴史的に紹介していく。
あたらしい建物	金尾 朗 (建築計画・都市計画)	個性やオリジナリティ、地域の個性などが求められている中、デザイナーがどのように新しい建物を考え、想像しているかについて実例を見ながら考えていく。
都市とオープンスペース	金子 友美 (建築計画・住居計画)	図と地の関係から「建物を建てる」とこと「外部空間をつくる」ということを考えます。世界各地の広場や日本のオープンスペースの事例を紹介いたします。
暮らしを支える建築を考える	木村 信之 (建築計画)	私たちの身のまわりには、学校や図書館、病院、美術館、駅など、様々な用途を持った建物があります。私たちの暮らしを支えるために、どのような用途の建物が必要なのでしょうか。また、それらの建物を造る上で、なぜバリアフリーを考える必要があるのでしょうか。一緒に考えてみましょう。
空間のデザインについて	杉浦 久子 (建築デザイン)	都市、建築、インテリアなどの領域を越えてスペース・デザインという視点から私たちの暮らす場所を考察する。最新の実験的なプロジェクトを参照しながら、身近なスペースを新たな観点から見直してゆく。
渋谷駅・東京駅・新宿駅という建築	田村 圭介 (建築計画・意匠)	一日300万人の乗降者数をもつ渋谷駅や新宿駅の仕組みはどうなっているのか。そしてそれらはどのようにしてできたのか。渋谷駅も新宿駅も1885年にそろうって誕生した。いずれも利用者の増加にともない時代時代の要請を受けながら地上と地下へと増築を繰り返して現在の姿がある。その生物のように増殖してきた建物についてのお話である。東京駅についても触れる。
室内環境と健康・快適	堀 仁美 (建築環境学)	現代社会において、私たちは一日のほとんどを室内で過ごしています。そのため、知らず知らずのうちに室内の環境からの影響を受けています。本講座では、室内環境と人間の健康性や快適性の関係について解説します。
家とインテリアの心理学	友田 博通 (環境心理学)	家や部屋は、他の人々との距離を調整し、自分だけの生活や家族だけの生活を保障してくれます。毎日長い時間を過ごす自分の部屋やリビングを人間と人間・空間と人間・文化と深層心理・流行と表層現象といった環境心理学の視点から考え直してみませんか？
三匹の子豚のおうち	中山 栄子 (材料学・環境科学)	私たちの住まいは“何”で“どう”いう風に“作られているのでしょうか？ 三匹の子豚さんのストーリーをお借りして、風土や文化に根差した住まいについて、一緒に考えてみましょう。 (環境科学分野:PM2.5の見える化 と言ったテーマでもお話は可能です。)
すまいと生活 ～子ども部屋を考える～	番場 美恵子 (住生活学)	幼児、小学生、中学生、高校生…同じ子どもでも、成長段階で必要なものは変化し、当然求められる子ども部屋も異なります。その実情とあるべきカタチをみていきましょう。
古い建物を保存して活用する方法を考えよう	堀内 正昭 (建築史)	皆さんのまちにある歴史的な建物を保存する意味は何でしょうか。建物は活用してこそ意味があります。ここでは具体的な事例を紹介しながら、保存活用について考えてみます。
建築に潜む力の流れを垣間見る	森部 康司 (建築構造・構造設計)	近年、ファッションやCMの背景として、建築家のデザインした美しい建物が取り上げられることが増えてきた。そうした建物では一見すると特徴的な外観やインテリアにばかりに目が行きがちだが、その裏には厳格な力学の世界が潜んでいる。そんな厳格の世界の一端を解説する。
「包む」デザイン	伊藤 兼太郎 (パッケージデザイン)	パッケージデザインは単にモノを包んでいるだけではなく、保存・保護・情報伝達・利便性などの機能を備えています。この講座ではその4つの基本的な機能を考察していきます。
モノのカタチの不思議	橘 倫央 (プロダクトデザイン)	蚊取り線香は、なぜ渦巻き状の形なのでしょう。それは、小さい面積で使用時間を長くする工夫と、製造・運搬において非常に効率的なためです。私達が普段使っている製品の形には、理にかなった意味があります。この講義では、実例を基にプロダクトデザインの役割を解説します。
「デザイン・ビフォー・アフター」	中田 士郎 (プロダクトデザイン)	現代の生活の中には様々な問題(社会的、人為的、物理的、身体的…)があります。それらの解決方法のひとつがデザインです。数々の事例を解説し、ビフォー・アフターでの変化にデザインがどう関わったかを考察していきます。
あかりのかたち —ランプシェード・デザイナー—	桃園 靖子 (プロダクトデザイン)	「心に感じるあかり」をデザインします。あかりが在る空間を考察し、素材の言葉を利きながら、「あかり」と「かたち」を結び造形表現を探ります。
ファッションが生まれるまで —アパレルの企画・生産—	石垣 理子 (被服構成学・アパレルデザイン)	人々の生活を豊かに彩るファッションの中心にある衣服。シーズンごとに人を魅惑する新しいスタイル。これらはどのように生み出されてみなさんの手に渡るのでしょうか？アパレル(既製服)の企画、生産、販売の流れを追いながら、ファッションビジネスの一端を覗いてみませんか？
くらしと繊維	小原 奈津子 (材料学)	地球に暮らす現代人として、科学技術が生活にもたらす恩恵と弊害を客観的に捉え、考える能力が求められています。この授業では、くらしのなかで接している物質の中でも特に繊維材料の性質や機能が現れる仕組みを解説します。
ファッションと染色	下村 久美子 (被服整理学・染織)	衣服はその製造過程、または製品の状態で染色や加工が施されています。私たちが着用している衣服の染色についての概要を知り、染料の種類と繊維との関係を考えて行きましょう。
靴の素材とデザイン	角田 由美子 (被服造形科学)	靴の素材とデザインについて実験データをもとにわかりやすく解説します。靴内の環境を快適に整える素材とは？足に合う靴とは？靴音のする靴とは？早く歩ける靴とは？きれいに歩ける靴のデザインとは？など靴について考えてみましょう。
見えないデザイン	石井 大介 (デザインアプローチ)	世の中に溢れる“見えるもの”。人はそこにデザインを連想しがちですが、同じくこの社会に“見えないデザイン”はあるのでしょうか。ドアの閉まる音や香水の匂い、椅子の座り心地。更に、お店のサービスや地域での新しい教育手法はデザインと呼べるのでしょうか。この講座では、様々な視点から現代におけるデザインの役割を考えます。
地方がおもしろい	内田 敦子 (地域デザイン)	日本各地で様々なまちづくりが行われています。しかも行政主導ではなく、地域住民が中心となって取り組まれている事例も多く、多種多様です。それはどのような取り組みなのでしょう。地域住民が自分たちの住んでいる地域を盛り上げている施策を紹介いたします。
楽しいショッピングのデザイン	木原 民雄 (デザインサイエンス)	どうしてショッピングは楽しいのでしょうか。そこにはお客様の心を動かす仕掛けがあるのです。ショッピングモールやお店や商品陳列や看板やメニューのデザインについて、気になる秘密を探ります。
デザイン・デザイン	藤澤 忠徳 (デザイン構想・意匠設計)	数多くのスライド・映像を使い現代デザインをユニークに紹介します。ベルボトムのジーンズはなぜ裾が広がっているの？ボカリスウェットのパッケージデザインはなぜ青色なの？国旗の色の意味は何？パリコレの洋服は本当にいいデザインなの？未来の車はどんな車？建築家はなぜ変わった建物を建てるの？などデザインの謎と真相に迫ります。